

ここ2週、雪の予報が気になり、明け方に目が覚めた。

午前3時に積雪は無く安心して寝て、朝6時にはあたり真っ白。あわててデイサービスのリーダーに電話連絡。

夏の台風の時期も当日のデイの開催に頭を悩ます。年に数回の恒例だが、厳しい季節は、思考を現実に戻してくれるものだ。

さて、夏冬に悪化する病気と言えば、アトピー性皮膚炎が有名。

開業前に四国の土佐清水病院で全国の重症アトピー患者さんを診た経験から、その後治療方法も改善させ、今に至る。

最も変化したのは、私の病気のとらえ方だ。昔ならば思春期で治ったはずの病気が何故成人になっても治らなくなったのか。そこには遺伝だけでは説明できぬ環境・食事・生活習慣の変化が複雑に絡み合う。薬を飲み、塗るだけでは治らぬ。もはや生活習慣病としてとらえるべきだ。

皮膚はカナリアのように病気の初期を敏感に表わす。だから顔を鏡で観るだけでなく、時々自分の裸体をしっかり観察することが大切だ。

皮膚だけでなく、体形の変化に気付き「あれれ」とあわてる事も必要かも。

皮膚科外来にて何らかの異常を疑う時は、ただの手湿疹でもたまたま全身を観察させて頂く場合がある。普通でない部分の発見が、時に意外な病気の発見につながることもあるから。

ハーブ内科皮膚科 理事長 竹内 秀俊

【ケアマネジャー】

「相談してよかった」と言って頂く言葉は、私が励まされる言葉です。

16年前に介護保険が施行された当初は、同居家族が介護を担う事が多かったですが、近年は単世帯が増え、介護を担う家族が別居しており、同市町村のみならず、県外、中には海外で仕事をしながらという家族もみえます。また介護を担っている家族自身も病院通いで治療を受けながら・幼い子供を育てながら・仕事を両立させながらと、様々な暮らしの中で介護を担ってみえ、感服しています。そのような現場の中で、利用者様やご家族から「相談してよかった」という言葉を頂くと、少しはお役に立てたのかと、喜び感じます。

些細なことでも、「ちょっと相談」と声をかけて頂くと嬉しいです。

【回想法デイサービス】



回想法・学習療法デイサービスでは餅つきを行いました。昔はご親戚が集まってされていたようですが、最近はされていない方が多く皆様喜んでくださいました。「よいしょ!!」の掛け声と共に力強くついていただきました。女性の利用者様に手返しをしていただいたところ、見事な手つきでした。お餅には長いもを入れ詰まらないようにしました。種類はあんこと砂糖醤油と大根おろしでした。美味しいよと皆様たくさん召し上がられていました。



【頭の体操コーナー】

ハーブデイサービス・グループホームでは、認知症予防・維持改善のため、くもの学習療法を取り入れています。

今回は節分が近づいてきたある日の学習中のお話の一部をご紹介します。

「昔は自分の家でとれた豆を炒って豆まきしたんだよ。歳の数だけ豆を握って家の中で『鬼は一外、福は一内』って叫んだよ」「そのあとはちゃんと拾って食べるの」「昔は必ず豆まきをした門だけど今は『鬼は一外』って聞こえてこないね」

毎年デイサービスでは鬼に扮したスタッフが登場して利用者様と豆まきをします。今年も豆まきをして福を呼び込みたいと思います！



スタッフブログを毎週更新中！

ハーブ内科

発行元: 医療法人ハーブ内科
(株)ハーブライフケア

所在地 知多郡阿久比町横松宮前 67
TEL 0569-49-2752/FAX 0569-49-2753